学校番号	１１０１

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店　出版）　（体育理論）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる
【学びに向かう力、人間性等】
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を通じる健康	1.　ライフステージと健康 2.　思春期と健康 3.　性意識と性行動の選択 4.　妊娠・出産と健康 5.　避妊法と人工妊娠中絶 6.　結婚生活と健康	a:生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している ・思春期に起こる心と体の変化についての特徴を理解し、どのように対処すれば良いか理解している。 ・性意識に関する男女の特性をふまえて異性を尊重する態度が必要であることや高校生の主たる情報の特性を知り、適切な意思決定・行動選択についてできる。 ・妊娠・出産期を健康に過ごすためには、妊婦の心身の状態や日常生活への配慮と周囲の支援、公的サービスの活用が必要であることを理解している。 ・家族計画の意義や方法、正しい避妊方法、人工妊娠中絶が女性の心身に与える深刻な影響について理解できる。 ・結婚生活を送るために必要な精神的発達や生活習慣や住環境が子どもの健康についてどのような影響を与えるかについて理解している。 b:生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに，それらを表現すること。 ・思春期に起こる心と体の変化について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 ・性情報が性行動の選択に影	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート

			響を及ぼす例をあげることができる。 ・受精・妊娠・出産で起こる心と体の変化について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 ・人口妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 c: 生涯を通じる健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
		7. 中高年と健康	a:加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 b:高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。 c:中高年気の健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート
		8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活	a:労働災害の防止には，労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて理解している。 ・労働災害の種類とその原因について理解している。 ・職場がおこなう健康増進対策，余暇の意義と活用の仕方について理解している。 b:働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート

			c:労働と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

後期	健康を支える環境づくり	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁,土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策	a. 人間の生活や産業活動は，自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには，汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また，環境衛生活動は，学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響について理解している。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法、産業廃棄物の処理について理解している。 b. 大気にかかわる地球規模の健康問題について説明ができる。 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて説明できる。 ｃ：水質汚濁の原因とその健康影響，土壌汚染の原因とその健康影響，大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート
		4. ごみの処理と上下水道の整備	a. ごみの処理の現状やその課題について理解している。 b. 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 c：ごみの処理と上下水道について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート
		5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	a：食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また，食品衛生活動は，食品の安全性を確保するよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。 b：食品の安全性に関する今日的課題や食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	定期考査	定期考査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート

			c:食品の安全、食品衛生について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
		7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用	a. 生涯を通じて健康を保持増進するには，保健・医療制度や地域の保健所，保健センター，医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解している。 ・保健行政の役割、日本における医療保険のしくみについて理解している。 b. 保健サービスの活用、さまざまな医療機関の役割の例をあげることができる。 c:保健サービス、医療サービスについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定 期 考 査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート
		9. 医薬品の制度とその活用	a. 医薬品は，有効性や安全性が審査されており，販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には，医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。 b. 医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。 c:医薬品について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定 期 考 査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート
		10. さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	a. 我が国や世界では，健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。 る。 b. 健康づくりのためのさまざまな活動，民間機関や国際機関などの保健活動について考え、説明することができる。 c:保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に	定期考査	定 期 考 査 提出ワークノート	観察 提出ワークノート

			取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度